

# 事務事業評価表

事務事業名	小学校管理運営	計画コード	1901
所属名(部・課・担当)	教育委員会 教育総務課	担当名	教育施設
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	19	安全な学校教育環境の整備	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	市内小学校児童		
意図・目的	校舎等学校施設の日常的な維持管理を図り、健全な教育環境を整っているようにする。		
活動概要	学校生活が円滑に営まれるために、必要な光熱水費や維持管理・修繕等の生活に欠かせない管理を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	修繕件数	件	113.0	113.0	68.0	70.0	80.0	85.0					
			施設起因による事故	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
			追加指標												
		費用	予算額		千円	199,277	201,772	194,512	196,463	備考					
			決算額		千円	192,806	200,332	188,557	-						
			財源内訳	(一般財源)		千円	192,806	200,332	188,557	196,463					
				(特定財源)		千円	0	0	0	0					
			人件費	職員数(正規/非常勤)		人	2	0.0	2	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	
	職員分			千円	12,200	12,200	12,200	12,200							
	非常勤分			千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)		千円	205,006	212,532	200,757	208,663								
定性的評価	活動の成果														

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

# 事務事業評価表

事務事業名	中学校管理運営	計画コード	1902
所属名(部・課・担当)	教育委員会 教育総務課	担当名	教育施設
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	19	安全な学校教育環境の整備	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	市内中学校生徒		
意図・目的	校舎等学校施設の日常的な維持管理を図り、健全な教育環境が整っているようにする。		
活動概要	学校生活が円滑に営まれるために、必要な光熱水費や維持管理・修繕等の生活に欠かせない管理を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考	
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	修繕件数	件	36.0	35.0	50.0	40.0	20.0	250.0						
			施設起因による事故	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
			追加指標													
	費用	事業費	予算額		千円	73,183	69,235	78,376	71,864	備考						
			決算額		千円	68,101	68,383	77,748	-							
			財源内訳	(一般財源)		千円	68,101	68,383	77,748	71,864						
				(特定財源)		千円	0	0	0	0						
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	2	0.0	2	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0			
			職員分		千円	12200	12200	12200	12,200							
			非常勤分		千円	0	0	0	0							
総事業費(事業費+人件費)		千円	80,301	80,583	89,948	84,064										
定性的評価	活動の成果															

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

# 事務事業評価表

事務事業名	小学校施設整備	計画コード	1903
所属名(部・課・担当)	教育委員会 教育総務課	担当名	教育施設
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	19	安全な学校教育環境の整備	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	市内小学校児童		
意図・目的	教育施設の改修工事等を計画的に実施し、教育環境の整備を図る。		
活動概要	学校施設の施設整備計画に基づき、経年劣化等による建物損壊箇所の修繕や外壁補修、屋上防水等を実施する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値					
定量的評価	活動実績	工事件数	件	4.0	3.0	3.0	1.0						
	費用	事業費	予算額	千円	97,975	44,011	22,927	23,597	備考				
			決算額	千円	78,515	43,494	22,921	-					
		財源内訳	(一般財源)	千円	78,515	43,494	22,921	13,537					
			(特定財源)	千円	0	0	0	10,060					
		人件費	職員数(正規/非常勤)	人	3   0.0	3   0.0	2.0   0.0	2.0   0.0					
			職員分	千円	18,300	18,300	12,200	12,200					
			非常勤分	千円	0	0	0	0					
	総事業費(事業費+人件費)	千円	96,815	61,794	35,121	35,797							
定性的評価	活動の成果												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

# 事務事業評価表

事務事業名	中学校施設整備	計画コード	1904
所属名(部・課・担当)	教育委員会 教育総務課	担当名	教育施設
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	19	安全な学校教育環境の整備	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	市内中学校生徒		
意図・目的	教育施設の改修等を計画的に行い健全なる教育環境を構築する。		
活動概要	学校施設の施設整備計画に基づき、経年劣化等による建物損壊箇所の修繕や外壁補修、屋上防水等を実施する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考	
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	工事件数	件	4.0	1.0	2.0	1.0								
定量的評価	費用	予算額		千円	501,979	16,072	21,581	42,887	備考						
		決算額		千円	496,404	15,941	21,097	-							
		財源内訳	(一般財源)		千円	496,404	15,941	21,097	14,167						
			(特定財源)		千円	0	0	0	28,720						
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	3.0	0.0	3.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0		
			職員分		千円	18,300	18,300	12,200	12,200						
			非常勤分		千円	0	0	0	0						
総事業費(事業費+人件費)		千円	514,704	34,241	33,297	55,087									
定性的評価	活動の成果														

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	



# 事務事業評価表

事務事業名	中学校防災施設整備	計画コード	1905
所属名(部・課・担当)	教育委員会 教育総務課	担当名	教育施設
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	19	安全な学校教育環境の整備	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	市内中学校生徒		
意図・目的	生徒が安心して過ごせる安全な教育施設の施設整備をする。		
活動概要	建物耐震診断に基づき、防災に備えた計画的な教育施設の耐震補強を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	工事件数	件	0.0	0.0	1.0	2.0							
	費用	予算額		千円	1,000	12,600	342,343	268,661	備考					
		決算額		千円	893	7,560	306,075	-						
財源内訳		(一般財源)	千円	893	7,560	306,075	129							
		(特定財源)	千円	0	0	0	268,532							
人件費		職員数(正規/非常勤)		人	3.0	0.0	3.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0		
		職員分		千円	18,300	18,300	12,200	12,200						
	非常勤分		千円	0	0	0	0							
総事業費(事業費+人件費)		千円	19,193	25,860	318,275	280,861								
定性的評価	活動の成果													

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

# 事務事業評価表

事務事業名	学校教育施設整備基金積立	計画コード	1906
所属名(部・課・担当)	教育委員会 教育総務課	担当名	教育施設
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	19	安全な学校教育環境の整備	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市学校教育施設整備基金条例
対象	和光市学校教育施設整備基金		
意図・目的	計画的な事業執行のため財産を維持し、学校教育施設の建設、改修、増設その他の整備の資金を確保する。		
活動概要	財政状況や事業の進捗状況を勘案しながら資金の積立てを行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	見込値								
定量的評価	活動実績	当初設定指標												
			教育施設整備基金活用件数	件	0.0	0.0	0.0	4.0	2.0	0.0				
			各年度末基金現在高	千円	241,964.0	342,714.0	342,972.0	286,434.0	0.0					
		追加指標												
	事業費	予算額		千円	1,168	33,699	258	103	備考					
		決算額		千円	1,168	519	258	-						
		財源内訳	(一般財源)	千円	1,168	519	258	0						
			(特定財源)	千円	0	0	0	103						
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
			職員分		千円	0	0	0	0					
非常勤分			千円	0	0	0	0							
総事業費(事業費+人件費)		千円	1,168	519	258	103								
定性的評価	活動の成果													

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	和光市学校教育施設整備基金条例で定められているので評価の余地がない。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

# 事務事業評価表

事務事業名	交通安全立哨指導員	計画コード	1907
所属名(部・課・担当)	教育委員会 教育総務課	担当名	教育総務
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	19	安全な学校教育環境の整備	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	市内小学校児童		
意図・目的	通学児童の登下校時の安全を図る。		
活動概要	児童の登下校時の安全を図るため交通指導員を配置する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	立哨指導員配置箇所	箇所	25.0	25.0	25.0	25.0	26.0	25.0	100.0				
			配置箇所における事故件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
			追加指標												
	費用	事業費	予算額		千円	26,715	22,881	22,130	21,399	備考					
			決算額		千円	21,633	21,278	20,672	-						
			財源内訳	(一般財源)		千円	21,633	21,278	20,672	21,399					
				(特定財源)		千円	0	0	0	0					
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	1.5	0.0	1.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0		
			職員分		千円	9,150	9,150	3,050	3,050						
非常勤分			千円	0	0	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)		千円	30,783	30,428	23,722	24,449								
定性的評価	活動の成果	立哨指導,交通指導により児童の登下校時における事故発生が無く、安全に登下校することができた。													

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	B	B
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	C	C
A できない B 既に協働して実施している C できる			
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	B	B
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	B	B
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
A 統合・連携できない B 統合・連携できる			
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	保護者や地域の力を生かすことにより、より効果的に実施できるのではないかと考える。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 第一次評価者のとおり保護者、地域の協力が得られることができれば、交通、防犯両面から安心・安全がより一層図られる。
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	保護者や地域住民の力を生かすことで、交通だけでなく防犯面からも有効であるが保護者や地域住民の協力が得られるかどうかにかかっている。

# 事務事業評価表

事務事業名	幼稚園就園奨励	計画コード	2101
所属名(部・課・担当)	教育委員会 教育総務課	担当名	教育総務担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	21	幼児教育の機会の支援	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	幼稚園就園奨励費補助金交付要綱
対象	私立幼稚園就園幼児保護者		
意図・目的	幼児教育の振興を目的とし保護者の経済的負担の軽減を図ることにより、幼児教育の振興を行う。		
活動概要	私立幼稚園就園幼児保護者を対象に幼稚園就園奨励事業及び和光市幼稚園児保護者補助金を実施し、就園保護者の経済的軽減を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標	就園奨励事業	人	981.0	1,001.0	1,052.0	1,120.0	1,050.0	100.2				
			保護者補助金	人	1,500.0	1,466.0	1,926.0	2,192.0	1,650.0	116.7				
			追加指標											
		費用	予算額		千円	201,028	198,313	137,426	168,659	備考				
			決算額		千円	179,995	178,930	135,847	-					
			財源内訳	(一般財源)		千円	160,445	178,930	113,759	140,945				
				(特定財源)		千円	19,550	0	22,088	27,714				
			人件費	職員数(正規/非常勤)		人	1   0.0	1   0.0	1.0   0.0	1.0   0.0				
	職員分			千円	6,100	6,100	6,100	6,100						
	非常勤分			千円	0	0	0	0						
	総事業費(事業費+人件費)		千円	186,095	185,030	141,947	174,759							
定性的評価	活動の成果													

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	保護者の経済負担軽減を図るために今後も事業を継続する。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
--------	--	---------------------------------	------------------------------------

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)			



# 事務事業評価表

事務事業名	児童相談	計画コード	3301
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 <span style="margin-left: 100px;">こども福祉課</span>	担当名	子育て支援担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	子どもが健やかに育つための環境づくり		
施策	33	安心して楽しい育児の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	児童福祉法
対象	子育てに関する悩みを持つ保護者・児童本人		
意図・目的	子育て中の保護者や児童自身が抱える悩みを解消される。		
活動概要	子育てに関する専門的なアドバイスを行うほか、言語・心理相談、保育園及び幼稚園への巡回相談、発達に気になる児童(3歳～未就学児)を対象にしたグループ活動を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	相談件数	件	2,317.0	2,024.0	2,171.0	2,200.0	2,300.0	94.4			子どもプランH26	
			各種相談回数(言語・心理・巡回相談)	回	54.0	52.0	52.0	50.0	55.0	94.5				
			各種相談人数(言語・心理・巡回相談)	人	153.0	170.0	131.0	180.0	190.0	68.9				
		追加指標												
	事業費	予算額		千円	16,480	17,514	18,102	16,121	備考					
		決算額		千円	15,026	16,229	17,030	-						
財源内訳		(一般財源)	千円	15,026	16,229	15,207	14,298							
		(特定財源)	千円	0	0	1,823	1,823							
人件費		職員数(正規/非常勤)		人	2.0	2.2	2.0	2.2	2.0	2.2				
		職員分		千円	12,200	12,200	12,200	12,200						
	非常勤分		千円	2,200	2,200	2,200	2,200							
総事業費(事業費+人件費)		千円	29,426	30,629	31,430	30,521								
定性的評価	活動の成果	要保護児童対策地域協議会構成機関の連携強化により、児童の安全や子育てに不安を抱える家庭の見守りをネットワークで行なえるようになり、学齢期前(新生児・乳児期・幼児期)など早期の段階で児童虐待の発見を行うことが可能となった。また、発達支援として、言語聴覚士による言語相談、臨床発達心理士による心理相談、保育園・幼稚園巡回相談、グループ活動、家庭訪問を行ない、虐待・育児等の不安解消を図ることができた。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	子どもや家庭に対するきめ細かな支援が重要となっていることから、必要不可欠な事業である。また、相談内容は複雑・多様化しており、問題が深刻化する前の早期発見・早期対応のために、より多くの事業展開と関係機関との連携強化が必要である。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 相談件数が多い中で、的確に対応することにより虐待防止に努める必要がある。また、相談内容が複雑・多様化している現状から、より専門的な知識を有する職員等の増員が必要。
--------	--

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	児童虐待の早期発見のために関係機関との連携を強化し、育児に対する不安等を解消・軽減できるように努める。

# 事務事業評価表

事務事業名	助産施設・母子生活支援施設入所	計画コード	3302
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 <span style="float: right;">こども福祉課</span>	担当名	子育て支援担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	子どもが健やかに育つための環境づくり		
施策	33	安心して楽しい育児の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	児童福祉法、和光市助産施設又は母子生活支援施設入所措置に係る費用の徴収に関する規則
対象	保健上必要があるにもかかわらず経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦。保護者(配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子)とその者の看護すべき児童		
意図・目的	安心して出産できるようにする。また、安心して自立した生活ができるようにする。		
活動概要	上記の妊産婦から申込みがあったときは、そのものに対し助産施設において助産を行う。また、上記の保護者から申込みがあったときは、母子生活支援施設において保護をする。(ただし、やむを得ない事由があるときは、生活保護の適用など適切な保護をする。)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 事案が発生したときに、対応できる(空きがあるなど)施設に委託するため、委託先は確定していない )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度(%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	入院助産の実施人数	人	0.0	2.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0			
			母子生活支援施設での保護世帯数	世帯	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0			
			母子生活支援施設で保護した世帯のうち自立につながった世帯数	世帯	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0			
		追加指標												
	事業費	予算額		千円	791	1,711	851	851	備考					
		決算額		千円	0	1,073	35	-						
財源内訳		(一般財源)	千円	0	476	35	214							
		(特定財源)	千円	0	597	0	637							
人件費		職員数(正規/非常勤)		人	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1		
		職員分		千円	0	0	0	0						
		非常勤分		千円	100	100	100	100						
総事業費(事業費+人件費)		千円	100	1,173	135	951								
定性的評価	活動の成果	入院助産については申し込みがなく、実施しなかった。母子生活支援施設での保護についても、申し込みがなかった。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	母子の保護のため、必要不可欠な事業である。母子がDVから逃れるための対応として、婦人保護を所管している社会福祉課保護担当とのより一層の連携が鍵となる。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 実績数は少ないが、児童福祉法に市の実施が義務付けられており、母子の保護のために市の介入は必要不可欠である。
--------	--

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	児童福祉法に基づき適切に対応していく。

# 事務事業評価表

事務事業名	次世代育成支援行動計画促進	計画コード	3303
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 <span style="float: right;">こども福祉課</span>	担当名	子育て支援担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	子どもが健やかに育つための環境づくり		
施策	33	安心して楽しい育児の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	次世代育成支援対策推進法
対象	子育て中の世帯や子どもを中心とした市民		
意図・目的	子育てをしやすいまちにする。		
活動概要	「わこう子どもプラン～和光市次世代育成支援対策後期行動計画(平成22年度～26年度)」に基づく子育てしやすい環境づくりのための施策や事業の推進について、年度毎に、「和光市次世代育成支援対策地域協議会」を開催し各施策・事業の進捗状況の確認、事業の評価及び提言を求めるとともに、取り組み状況を市HP及び広報、行政資料コーナーにて公表する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市民団体「わこう子どもサポーターズ」との協働)		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値					
活動実績	当初設定指標	各課の施策・事業の自己評価において、「よく取組めた」と回答した事業数	事業	136.0	96.0	0.0	95.0	110.0	0.0			H24.5月末累計予定、H23から総事業数155に変更。	
		各課の施策・事業の自己評価において、「全く取組めなかった」と回答した事業数	事業	9.0	12.0	0.0	5.0	0.0				H24.5月末累計予定、H23から総事業数155に変更。	
		次世代育成支援対策地域協議会の出席委員数(延べ人数)	人	12.0	24.0	17.0	42.0	28.0	60.7			H24は会議を2回から3回に増やす予定	
	追加指標												
定量的評価	事業費	予算額	千円	72	90	90	127	備考					
		決算額	千円	46	63	76	-						
		財源内訳	(一般財源)	千円	46	63	76	80					
			(特定財源)	千円	0	0	0	47					
	人件費	職員数(正規/非常勤)	人	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0		
		職員分	千円	6,100	6,100	6,100	6,100						
		非常勤分	千円	0	0	0	0						
	総事業費(事業費+人件費)	千円	6,146	6,163	6,176	6,227							
定性的評価	活動の成果	平成22年度の事業実績や平成23年度の事業予定を報告・評価するため、次世代育成支援対策地域協議会を2回(平成23年、8月2日、平成24年3月26日)開催した。また、「わこう子どもプラン」の当事者である子どもからの意見を聴く機会として「子ども版地域協議会」を市民団体である「わこう子どもサポーターズ」と協働で開催した。子ども目線の意見や提案を聞くことができ、取り組めるものについては取り入れている。「わこう子どもプラン」及び「子ども版地域協議会」共に取組み状況については報告書として市HPに掲載している。さらに、「わこう子どもプラン」の評価方法として関係課による自己評価と次世代育成支援対策地域協議会による第三者評価に加え、平成23年度実施分から受益者評価を取り入れることとしたため、アンケートを実施した。											

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	「わこう子どもプラン」の施策・事業を適正に実施する上で、必要不可欠な事業である。評価方法も見直され、自己評価、第三者評価に加え、H23年度実施分からアンケートによる受益者評価も加わるため、市民の声を聞くことができるようになった。「子ども版地域協議会」は、より多くの子どもに参加してもらうため、周知の方法等課題である。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	「子どもプラン」の施策・事業を適正に実施するため、「和光市次世代育成支援対策地域協議会」を開催し各施策・事業の進捗状況の確認、事業の評価及び提言を求めるとともに、取り組み状況を市HP及び広報、行政資料コーナーにて公表していく。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境を整備するため、「子どもプラン」に基づく事業を展開していく。

# 事務事業評価表

事務事業名	つどいの広場運営	計画コード	3401
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 <span style="margin-left: 100px;">こども福祉課</span>	担当名	子育て支援担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	子どもが健やかに育つための環境づくり		
施策	34	地域における健やかな子育ての実現	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市つどいの広場事業実施要綱
対象	子育て中の親子 わこう子育てネットワーク		
意図・目的	子育て中の親の孤独感、閉塞感、育児不安等の解消を図る。また、子育て中の親及びその子の相互の交流が深まるようにする。		
活動概要	手遊び会、おはなし会などの事業の実施や土曜日の父親の育児参加(パパサロンの開催)など、気軽に集うことができる場の提供及び子育てに関する相談を実施する。また、子育てサロンや食育講座、電話相談などを実施する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: 特定非営利活動法人わこう子育てネットワーク ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 特定非営利活動法人わこう子育てネットワーク ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	事業(講座、イベント)参加人数	人	5,046.0	4,876.0	4,228.0	4,500.0	5,100.0	82.9				
		追加指標	相談人数(事業及び随時受付)	人	645.0	422.0	366.0	440.0	650.0	56.3				
			事業(講座、イベント)開催回数	回	193.0	179.0	143.0	160.0	200.0	71.5				
			事業(相談)開催回数	回	12.0	8.0	5.0	8.0	12.0	41.7				
定量的評価	費用	予算額		千円	6,523	6,435	6,651	6,651	備考					
		決算額		千円	6,523	6,435	6,651	-						
		財源内訳	(一般財源)		千円	3,040	4,709	3,168	3,168					
			(特定財源)		千円	3,483	1,726	3,483	3,483					
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0			
			職員分		千円	610	610	610	610					
			非常勤分		千円	0	0	0	0					
総事業費(事業費+人件費)		千円	7,133	7,045	7,261	7,261								
定性的評価	活動の成果	つどいの広場の運営については、特定非営利活動法人わこう子育てネットワークに運営を委託し、NPOならではの決め細やかな事業展開を行いながらも、コストを低く抑えている。また、当団体は、補助金を活用して、毎年度、子育て家庭を孤立させないための「子育てサロン」事業など、行政では予算や人的に手が届かない事業に積極的に取り組んでいる。平成21年度からは、虐待防止に有効と考えられる「家庭訪問型子育て支援」事業も継続しており、今後とも市として連携し業務実施していきたい。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	子育て家庭の孤立感を解消するのに有効な事業であるが、利用者数に対して手狭になっている。新たな拠点を探ることが長年の課題である。子育て活動推進補助金については、団体の新たな事業展開(家庭訪問型子育て支援事業)にどのように市が関われるかを検討する。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	子育てについての相談・情報の提供や子育ての仲間づくりの場として、有効な事業である。今後とも団体との連携による事業を実施する。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	子育て支援拠点として利用者の子育て不安等の解消に繋がっており、利用者の満足度も高いことから引き続き団体との連携による事業を展開していく。



# 事務事業評価表

事務事業名	子育て支援センター管理運営	計画コード	3402
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 <span style="margin-left: 100px;">こども福祉課</span>	担当名	子育て支援担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	子どもが健やかに育つための環境づくり		
施策	34	地域における健やかな子育ての実現	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	児童福祉法第6条の2第6号、同法施行規則第1条の7
対象	就学前の子を養育している子育て中の親子		
意図・目的	地域における子育て支援拠点において子育て支援を実施することにより、子どもが健やかに育つようにし、また、子育て中の親の子育ての負担を軽減する。		
活動概要	就学前の子を養育している子育て中の親子に対し、年齢別サークルの実施や講座を開催し、子育てへの支援を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: <span style="margin-left: 20px;">みなみ: 社会福祉法人なかよし会、しらこ: 学校法人柳下学園</span> ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	年齢別サークルの実施回数	回	22.0	23.0	23.0	23.0	23.0	18.0	127.8			
			講座の実施回数	回	186.0	231.0	191.0	190.0	200.0	95.5				
			延べ利用者数	人	80,955.0	108,834.0	92,967.0	92,000.0	100,000.0	93.0				
		追加指標												
	事業費	予算額		千円	49,077	50,102	52,147	52,805	備考					
		決算額		千円	49,077	51,799	52,110	-						
財源内訳		(一般財源)	千円	38,408	40,977	44,141	43,975							
		(特定財源)	千円	10,669	10,822	7,969	8,830							
人件費		職員数(正規/非常勤)		人	0.3	0.4	0.2	0.4	0.2	0.4	0.2	0.4		
		職員分		千円	1,830	1,220	1,220	1,220						
	非常勤分		千円	400	400	400	400							
総事業費(事業費+人件費)			千円	51,307	53,419	53,730	54,425							
定性的評価	活動の成果	<p>未就学児の親子が気軽に遊べる場の提供及び年齢別サークルを通して親同士がつながりを持つ機会の提供をしている。また、育児不安等の解消を目的とした相談や妊産婦向けの子育て支援事業を実施しており、参加者から好評である。</p> <p>なお、講座数が減少しているが、講座によって特定の親子だけの支援に場所と時間・職員数がとられてしまうことを懸念し、平成23年度は様子をみながら、より多くの親子の支援ができるよう講座の見直しを行った。</p>												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	B	B
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	地域によっては、既存の支援センターを利用しづらく、子育てに関する悩みを相談する場所がないため、新たな拠点整備だけでなく、出張相談を充実させる必要がある。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	1次評価のとおり、出張相談や既存の施設の有効的な活用視野に入れて検討が必要である。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	子育て支援拠点として利用者の子育て不安等の解消に繋がっており、利用者の満足度も高いことから今後においても適切な運営に努めていく。

# 事務事業評価表

事務事業名	ファミリー・サポート・センター	計画コード	3403
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 こども福祉課	担当名	子育て支援担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	子どもが健やかに育つための環境づくり		
施策	34	地域における健やかな子育ての実現	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱
対象	市内在住、在勤者で生後43日から12歳までの子どもを持つ人(依頼会員)・市内在住者(協力会員) 産前産後・母子健康手帳発給から産後42日までの市内在住・在勤者(依頼会員)・児童夜間養育事業(3歳から12歳までの子どもの預かり)		
意図・目的	仕事と育児を両立できる環境など、地域で子育てをする環境を整備する。また、子育て中の保護者の負担を軽減する。		
活動概要	子育てを支援するために「子育ての手助けをしてほしい方」(依頼会員)と「子育ての手助けができる方」(協力会員)が、地域の中で相互援助を行うために、登録制による有償のボランティア活動をする。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	援助活動件数	件	5,102.0	4,216.0	3,984.0	5,000.0	7,700.0	51.7	「子どもプラン」目標年度H26			
		協力会員数	人	121.0	139.0	164.0	165.0	165.0	99.4	「子どもプラン」目標年度H26				
		依頼会員数	人	797.0	875.0	1,013.0	1,050.0	1,140.0	88.9	「子どもプラン」目標年度H26				
	追加指標	講座回数	回	22.0	18.0	30.0	20.0	22.0	136.4					
定性的評価	事業費	予算額		千円	6,459	6,597	6,061	6,058	備考					
		決算額		千円	6,323	6,468	5,661	-						
		財源内訳	(一般財源)	千円	3,843	4,488	1,841	2,238						
			(特定財源)	千円	2,480	1,980	3,820	3,820						
	人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.5	2.8	0.5	2.8	0.5	2.1	0.5	2.1		
		職員分		千円	3,050	3,050	3,050	3,050						
		非常勤分		千円	2,800	2,800	2,100	2,100						
総事業費(事業費+人件費)		千円	12,173	12,318	10,811	11,208								
活動の成果	<p>労働環境の多様化、女性の社会進出に伴い、依頼会員数は増加する一方にある。これに対し、協力会員についても、現役を退いたシニア世代を中心に会員数を増やしている。一方で、震災後の労働環境を整備する動きや、他の保育サービスが充実化した影響もあり、活動実績は2年度連続して減少した。</p> <p>平成23年度は、病児等への対応として、緊急サポート事業を開始した。このため緊急サポート会員養成講座として、3日間ずつ年2回(合計12コマ)開催した。</p>													

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	子育て家庭にとって、仕事と家庭を両立するため、また、子育てのストレスから解放されるために、必要かつ有効な事業である。今後とも、新たな協力会員獲得とは別に、ミニ交流会など、極力経費を掛けずに実施できる事業を工夫し、協力会員にとって居心地が良く在籍期間が長くなるよう努力する必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	1次評価のとおり、子育て家庭にとって、仕事と家庭を両立するため、また、子育てのストレスから解放されるために、必要かつ有効な事業である。また、「子育ての手助けをしてほしい方」(依頼会員)と「子育ての手助けができる方」(協力会員)が増加しているが、協力会員数を増やしていく必要がある。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	依頼会員数が増加傾向であることから、運営に支障が出ないよう協力会員を増やしていく必要がある。

# 事務事業評価表

事務事業名	児童センター(館)管理運営	計画コード	3404
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 <span style="margin-left: 100px;">こども福祉課</span>	担当名	子育て支援担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	子どもが健やかに育つための環境づくり		
施策	34	地域における健やかな子育ての実現	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	児童福祉法、和光市児童センター設置及び管理条例
対象	18歳未満の児童及びその保護者		
意図・目的	異年齢間の児童、地域の大人たち、児童厚生員など、様々な世代との交流を通じ、児童の健全に育成されているようにする。また幼児と保護者が集える場所を提供することで、子育てに関する悩みやストレスを解消する。		
活動概要	地域社会と連携しながら、体育レクリエーション・文化活動・教室・サークルなどの事業を実施する。また、施設利用者の安全性及び快適性向上のため、施設の整備を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: 社会福祉法人和光市社会福祉協議会、株式会社マッサ ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	開館日数(4館及びプール棟合計)	日	1,485.0	1,459.0	1,437.0	1,450.0	1,485.0	96.8				
		追加指標	利用者数(プール利用者を含む)	人	231,903.0	242,261.0	254,090.0	265,000.0	275,000.0	92.4	目標値は「わかしずくもプラン」年度別年度目標値に準拠			
		開催行事延数(水泳教室を含む)	日	2,018.0	1,632.0	3,197.0	3,200.0	2,000.0	159.9					
		行事への参加者数(水泳教室を含む)	人	65,695.0	67,236.0	91,499.0	90,000.0	75,000.0	122.0					
定性的評価	事業費	予算額		千円	186,442	183,245	188,593	182,226	備考					
		決算額		千円	176,329	177,434	183,312	-						
		財源内訳	(一般財源)		千円	176,329	177,434	183,312	154,985					
			(特定財源)		千円	0	0	0	27,241					
	人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0				
		職員分		千円	3,050	3,050	3,050	3,050						
		非常勤分		千円	0	0	0	0						
総事業費(事業費+人件費)		千円	179,379	180,484	186,362	185,276								
定性的評価	活動の成果	児童センター(館)指定管理者が実施する事業については、毎年度利用者のニーズに沿った事業展開を実施しており、利用者数及び事業参加者数は過去三年の実績鑑みても増加傾向にある。ただし、ソフト面については向上しているが、ハード面については老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要。また業務委託を行っている児童センタープール棟についても設備の老朽化に伴い随時修繕を行っている状態であるため、総合的な老朽状況の把握が必要。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	B	B
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	児童センター(館)で開催している幼児サークル及びプール棟水泳教室への希望者は多く、また来館者数も増加傾向にあることから、市民ニーズは高い。反面、事業により抽選漏れが出ており、子育て支援が充足していない状況の解消や、中高校生の居場所づくりなど、児童センター(館)に求められる役割の広がりに対応する必要がある。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	1次評価のとおり、来館者数が増加していることから市民ニーズは高い。今後においても市民ニーズを考慮した事業展開を実施する。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	指定管理者による現行サービス水準を維持し、事務の効率化及び利用者ニーズを考慮した事業展開を目指すものとする。